

この「ジオパーク通信」では、洞爺湖有珠山ジオパーク（伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町）の見どころ・楽しみどころ、最新のジオパーク情報をお知らせしていきます。



ジオパークってどこ？

ジオパークとは、人工的に作られたテーマパークとは違い、もともとの大地の特徴を保全し、観光や教育に活用している地域一帯を指します。

洞爺湖有珠山ジオパークのエリアは、伊達市・豊浦町・壮瞥町・洞爺湖町の全域。約 51,000 人が暮らし、年間 70 万人もの観光客が訪れるこの地域は、ユネスコ世界ジオパークに認定されています。



ジオパークって、何するところ？

「ジオ」は英語で「地球」を示す言葉です。ジオパークは、地球の歴史や活動を知り、楽しめる地域のこと。そのための散策路や各種の展示施設、ガイドブック、案内役がそろっています。ここでしか見ることのできない「大地の物語」を探してみませんか？

例えば、ここも見どころ！



300 万年前の火山活動の証 小幌洞窟（豊浦町）



カルデラ壁が崩れ島になった浮見堂（洞爺湖町）



1822 年の噴火災害を伝える有珠善光寺（伊達市）



麦畑から誕生した昭和新山（壮瞥町）

◆◆ お知らせ ◆◆

洞爺湖有珠山ジオパークについて、さまざまな方法で情報をお伝えしています。資料を希望する人は、ジオパーク推進協議会（洞爺湖町役場内 ☎ 74-3015）までお問合せください。



絵本「11万年のうえの1日」

ジオパークで生きる動物や人々の暮らしと、大地のつながりを絵本にしました。



小学生～高校生向け野外学習テキスト「火山編」「歴史文化編」「植生回復編」

地元で暮らしていても知らなかった見どころ・学びどころを紹介。データはHPでも公開しています。



ジオパークガイド ※ 1冊 200円

全 8 冊。コースごとに地形の成り立ちについて説明しています。大人向けのガイドブック！

